

第4回市民会議資料

平成27年7月29日

目次

**テーマ：女性が住んでみたい、住み続けたいまちづくり
～各部会の視点から～**

- 1. 今後のテーマ**
- 2. 「女性が住んでみたい、住み続けたいまち」とは**
- 3. 本日の作業／会津若松市のストーリーづくり**
- 4. 本日の作業／発表の手順**

1 今後のテーマ

会津若松市では、次期総合計画の重点政策テーマとして以下を想定しており、今後の市民会議で議論していく予定。

○女性が住んでみたい、住み続けたいまち

○人と人のつながりの再生 ～地域の活力、コミュニティの再生～

○ストップ人口減少～生産年齢人口、交流人口の増加に向けて～

(*)テーマは仮のもので変更の可能性があります。

2 「女性が住んでみたい、住み続けたいまち」とは

× 女性の暮らしやすいまち＝誰かが暮らしにくいまち

○ 誰でもが暮らしやすいまち→“特に”女性の暮らしやすいまち

質問:「会津若松市はどのようなまちですか？」

答え:「女性が住んでみたい、住み続けたいまち」です。

と市民の誰でもが、堂々と言うことが出来る。

さらに、「なぜなら、会津若松市では、……」

とその理由を誰もが言えるようになる。

このようになるには、どうすればよいのか→今日の作業

3 本日の作業／会津若松市のストーリーづくり

<本日の作業(ワークショップ)テーマ>

会津若松市が「女性が住んでみたい、住み続けたいまち」であることを各部会の視点から考える。

<作業1>

次の1～4について、ポストイットに記入し、各自発表。

1. どのような住みよいポイントがあるか

サービス、機能、施設、土地柄、人の考え方、等々において、会津若松の優れているところ、充実しているところ、といった特色などを記入する。

- (例)
- ・病院が多い(ふくし)
 - ・コンパクトシティである(まち)
 - ・人と人とのつながりがある(ひと)

3 本日の作業／会津若松市のストーリーづくり

2. 特に会津ならではのこと

特に会津若松の優れているところ、充実しているところ、特色と考えられることなどを記入する。

3. より住みやすくするための取り組み

P3質問に対する回答(理由)としては、女性が住んでみたい、住み続けたいまちになるために、「こんな取り組みをしている」。

従って、今回の作業では、「こんな取り組み」に相当する、これから色々やってみてはどうか、今の取り組みをもっと先に進めてはどうかといった提案を記入する。

4. 会津若松だからできること

上記3のうち、会津若松だからこそできることの提案を記入する。

4 本日の作業／発表の手順

作業1の続き

各自記入したポストイットについて説明しながら、下のようイメージで、用紙に貼っていく。

部会テーマ:〇〇から考える女性が住んでみたいまち、住み続けたいまち

	<現状>	<将来>
女性が住んで みたいまち (一般論)	1. サービス・機能・施設等の充足 状況	3. 1の中で、改善が求められる取り組み／新しい政策提案
会津若松らし さは？	2. 1の中で、会津若松が優れている、特色がある、充実している事柄	4. 会津若松として、らしさをだすために、今後チャレンジすべき取り組み

4 本日の作業／発表の手順

(注)一人で、1～4全て考える必要ありません。一部でも構いません。

(注2)各部会のテーマに沿ってお考え願います。

<作業2>部会毎の取りまとめ

P3の問いに答えるイメージで、各部会毎にストーリーをまとめます。

(イメージ)

質問:「会津若松市はどのようなまちですか？」

答え:「女性が住んでみたい、住み続けたいまち」です。

「なぜなら、会津若松市では、1のような点が優れています。特に2. × × は、会津若松市ならではの取り組みと考えられます。また、今よりもさらに良くなるように3のような取り組みも行っています。4は、会津若松市独自のチャレンジです。」

(参考)

● 三世代同居と出生率の関係

三世代同居率の高さが出生率に影響を及ぼしている可能性がある「福井モデル」
しかし、同居率が高くても出生率が低い地域もある。

三世代同居の状況

	世帯数	うち三世代	同左率(%)
国	51,842,307	3,657,711	7.1
福島県	719,441	110,046	15.3
会津若松市	47,813	6,407	13.4
旧会津若松市	43,237	4,968	11.5
旧北会津村	2,065	640	31.0
旧河東町	2,511	799	31.8

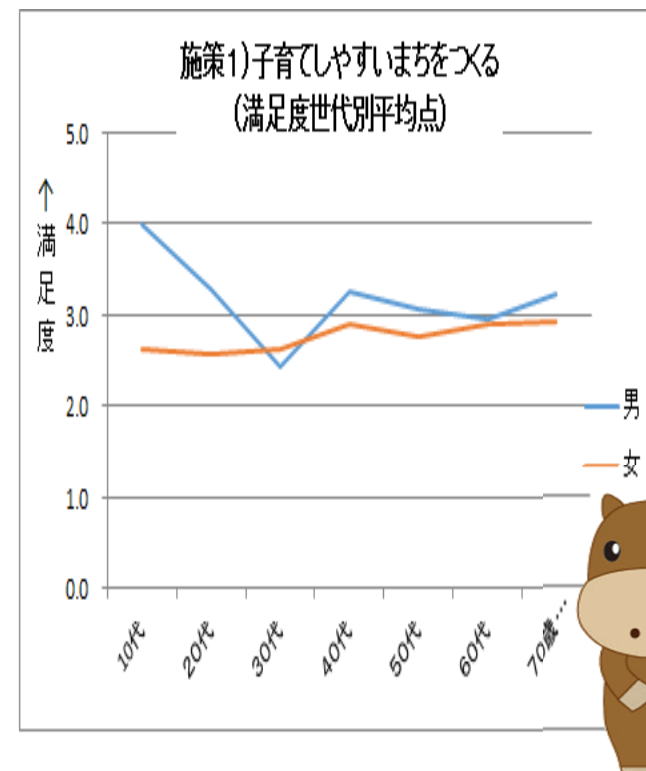
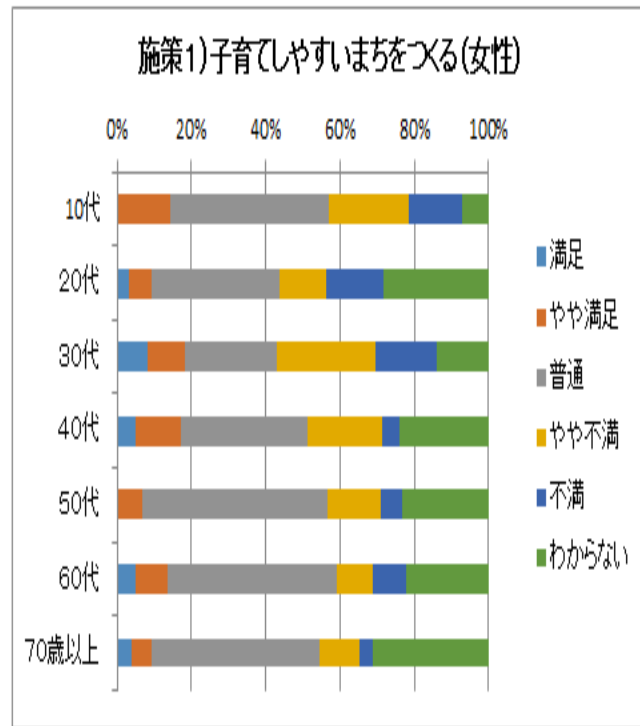
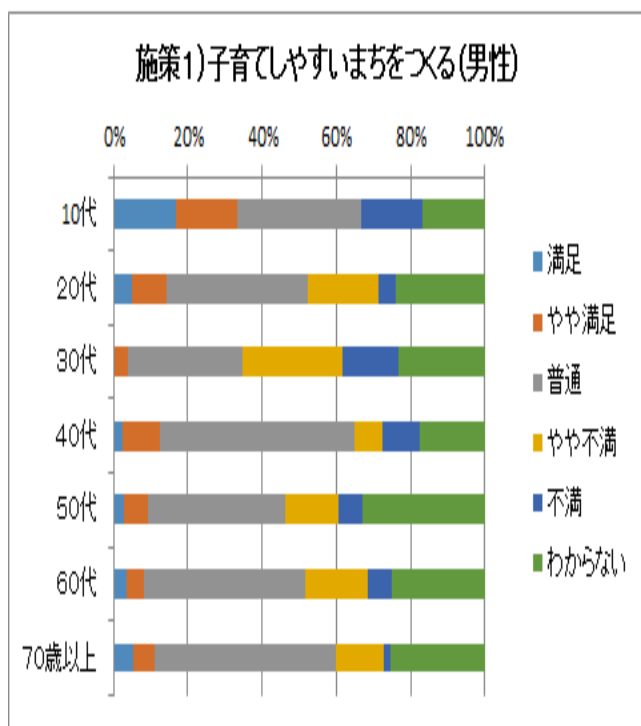
● 会津若松市アンケート

・「子育てしやすいまちをつくる」に対する満足度は、30代を除き、全般的に女性の満足度は低い(次ページ)

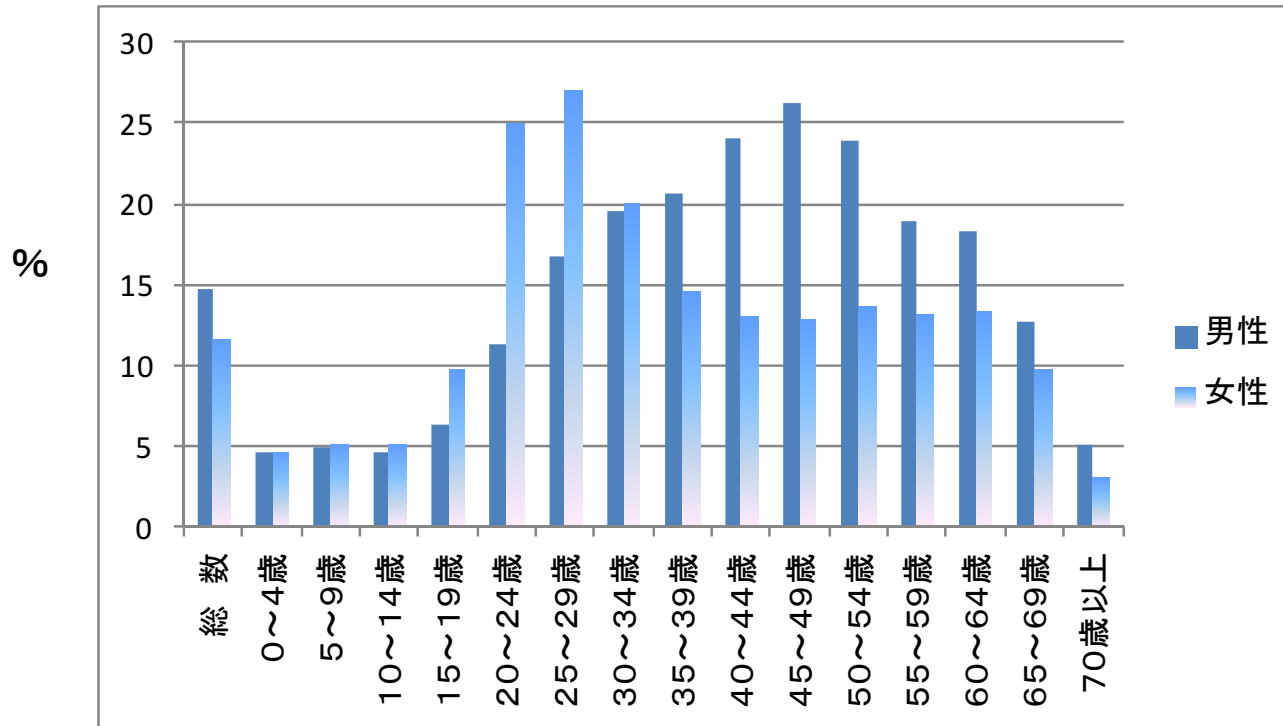
(参考)

(施策1)子育てしやすいまちをつくる

- 「施策1)子育てしやすいまちをつくる」の満足度は、30代女性を除き、男性より女性が低くなっています。
- 満足度の平均値は男性3.1、女性2.8と他の施策と比べて高くなっています(満足5、やや満足4、普通3、やや不満2、不満1、としたときの満足度)



男女別年齢階層別出国率(出国者数／各年代人口)



- ・10代後半から20代は女性の出国率が高い。特に20代女性の出国率は各年代でも最高水準。
- ・30～50代では男性の出国率が高い。

(出所)法務省出入国管理統計(平成22年)



ありがとうございました。